

第 1 回海上の森保全活用計画策定検討委員会における主な意見

分野	意見内容
自然環境の保全	1 外来種が増えていることへの対応
	2 ギフチョウへの対策は検討するのか（※）
	3 動植物の窃盗・盗掘がみられる
森林整備	1 間伐の経費に材の売り払い収入を充当できる仕組みやリークレジットなどを活用できないか。
	2 間伐は計画的に実施できたが、活用ができていない。
	3 多様な広葉樹林を残すために、小面積皆伐を検討。
	4 「恵みの森」の広葉樹整備に企業連携が森林組合などを含めてできないか。
農地の管理	1 イノシシ対策は電気柵・山際と畑のバッファゾーン・狩猟がセット。海上の森で実施してモデル地区にしてはどうか。
	2 農地周辺の高木化した樹木を伐採して光環境の改善が必要。
	3 ため池の適切な管理が必要。ウシガエルの除去や泥上げなど
人材育成	海上の森アカデミーはワーキンググループを作って見直しを検討。
地域	1 住民が住んでいなくても里文化や自然が守られるモデル地区になることを期待。
	2 海上を維持するためにも地元住民の参加をどう増やすかが課題。
施設	施設が老朽化している。トイレは利用者負担を検討してはどうか。
運営	1 森林管理や普及啓発ができる人数・人材の職員配置が必要。
	2 来場者のニーズを把握するよう次期計画で調査を検討する。
その他	瀬戸市道の補修を瀬戸市に要望する。

（※）は、増田委員の意見